



ORCA Bridge

ORCAブリッジ

操作マニュアル

第12版

2023/07/06

はじめに

このマニュアルではORCAブリッジのインストールから出力設定までの操作方法について説明しています。日医標準レセプトソフト（ORCA）、API接続、インターネット接続、証明書のインストール、および本アプリケーション（ORCAブリッジ）の利用登録（**アクティベーションキー**の取得）が完了しインストーラーの準備が整っていることを前提としています。

【重要】日レセクラウドに接続する場合

『日医標準レセプトソフト クラウド版』の証明書について

クラウド接続する為、下記、2つの**証明書のインストールが完了**している必要があります。

証明書	ファイル名	コンテンツのタブ
CA証明書	ca.crt （注1）	信頼されたルート証明機関
クライアント証明書	～.p12 （注2）	個人

注1). WebORCA（新URL）の場合、CA証明書のインポートは不要となりました。

注2). クライアント証明書の名称をリネームする必要は無くなりました。

【確認方法】

インターネットエクスプローラー等のインターネット オプション（コンテンツ）証明書を開いてタブを選択し各証明書が正しく登録されているか確認してください。

【インストール方法】

『日医標準レセプトソフト クラウド版 医療機関向けシステム管理サイトサクセス手順』を参照してインストール作業を行ってください。

http://ftp.orca.med.or.jp/pub/data/ginbee/2-4.cloudorca-tenant-adminsiteaccess_20190930.pdf

※このホームページは予告なく変更される場合がございます。予めご了承ください。

目次

1. 概要	3
2. システムのインストール	4
3. 初期設定	7
4. ユーザプログラムの登録	16
5. EXEコマンドを実行する場合	17
6. CSVファイルを出力する場合	21
7. TXTファイルを出力する場合	24
8. XMLファイルを出力する場合	27
9. ユーザプログラム登録（実行の登録）	31
10. ユーザプログラム登録（編集・削除）	32
11. その他の機能	33
12. 新機能	36
13. 閉じる	37
14. 終了	37
15. システムの更新	38
16. システムのアンインストール	38
17. よくある質問	39
修正履歴	41

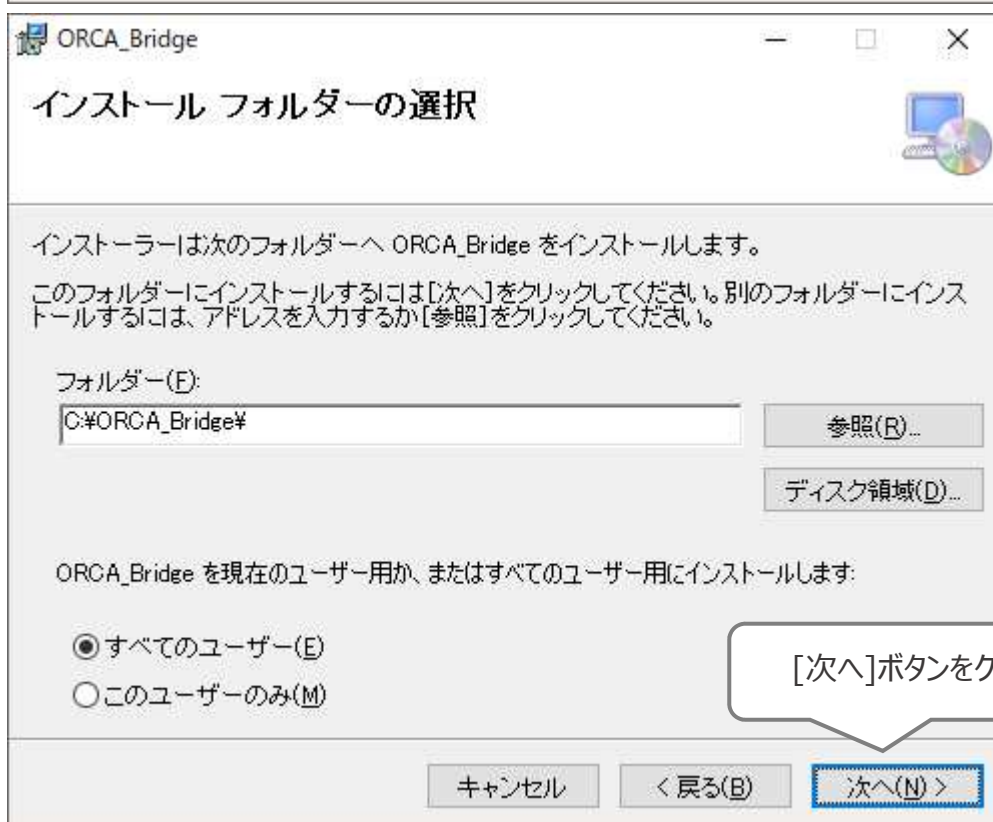
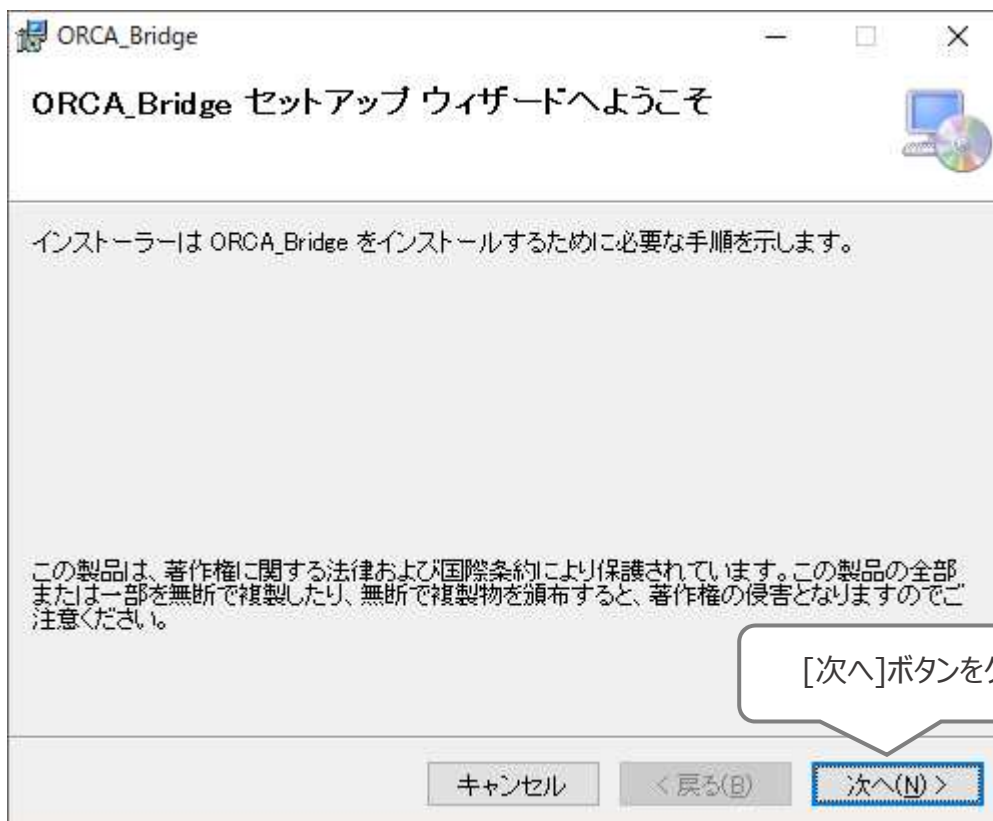
1. 概要

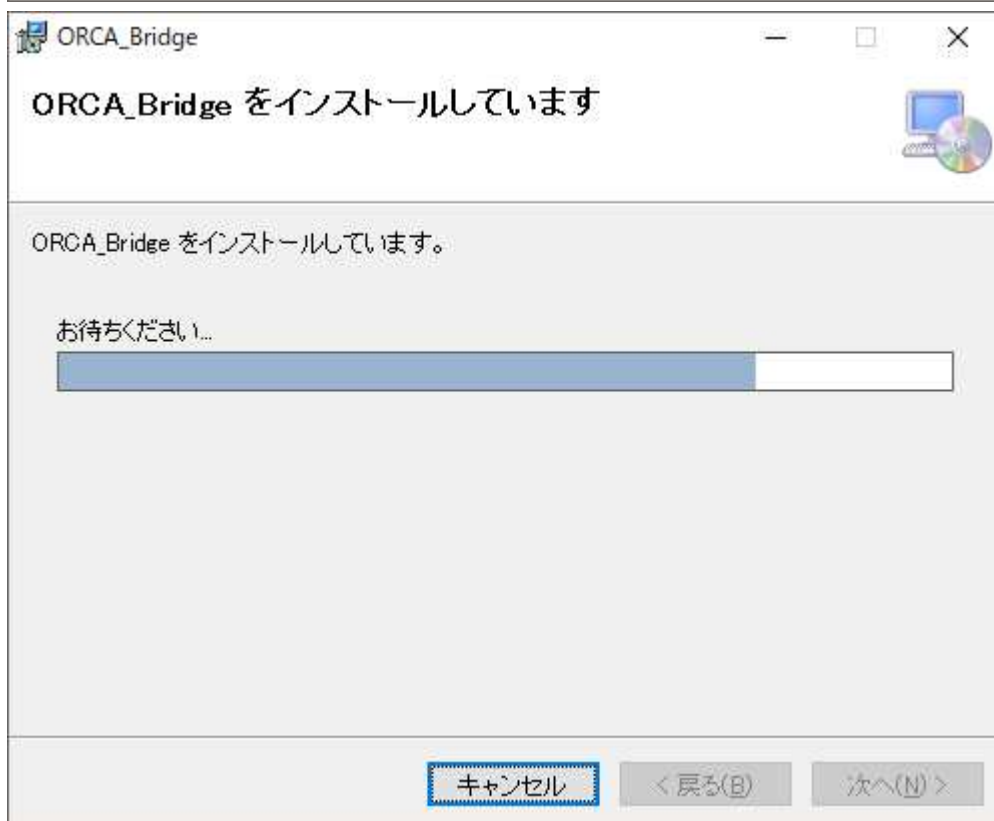
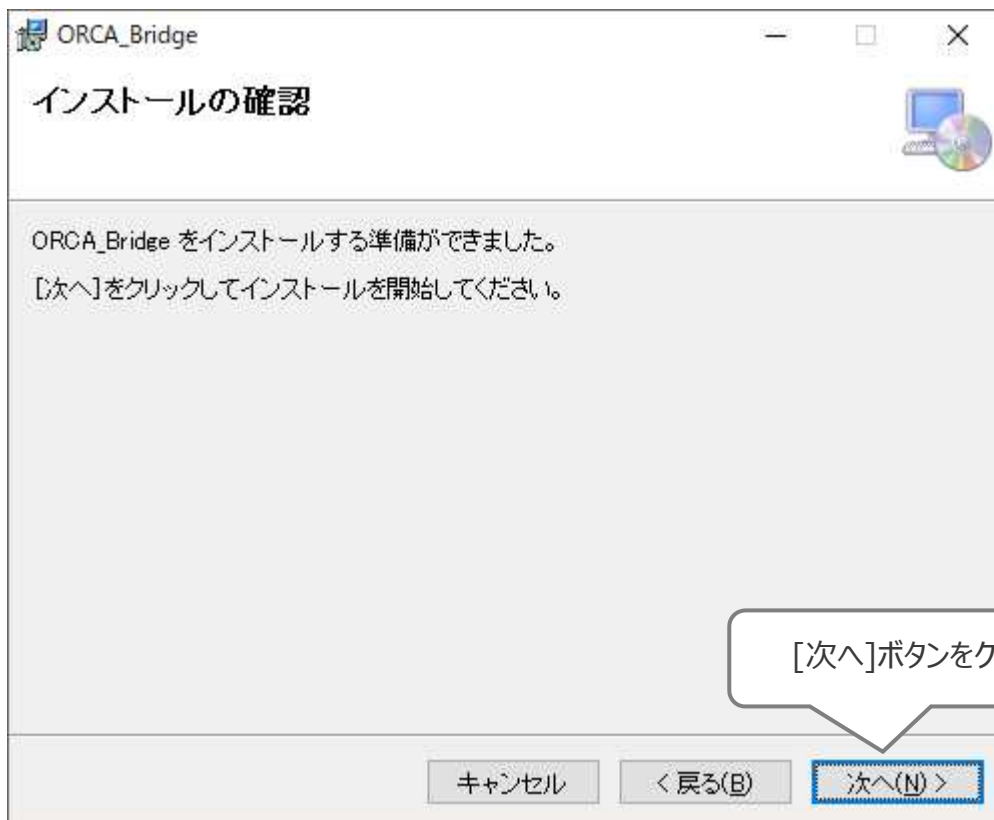
ORCAブリッジは日医標準レセプトソフト（以下、ORCA）と周辺システムの連携を可能にする為、その橋渡し（ブリッジ）役となることを目的として開発されました。ORCAの画面操作により発行されるPush API情報をORCAブリッジで受け取り周辺システムへの連携に必要な情報を形成して指定されたファイル形式で指定されたフォルダへ出力します。従来、ユーザプログラムを使用して連携用のプログラムをカスタマイズで作成しORCA側へ組み込む必要がありましたがORCAブリッジはそのプログラムと同等の動作をWindows上で行うことができます。オンプレおよびクラウドに対応しています。

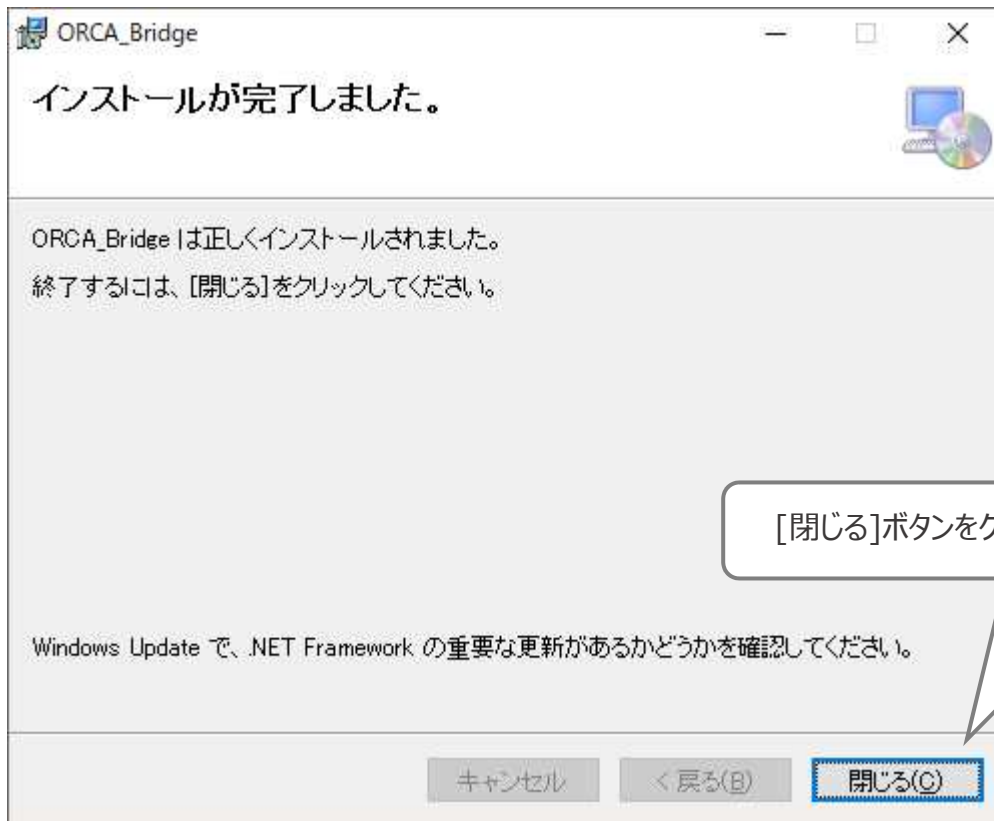
またORCAで印刷指示された帳票データ（JSON形式のファイル）を指定されたフォルダへ出力することが出来ます。例えば患者登録時「診療録（カルテ1号紙）」、診療行為登録時「請求書兼領収書」や「お薬手帳」等の帳票データをORCAの印刷操作で出力することが出来ます。出力可能な帳票データ、およびORCA側の設定方法に関しましてはORCAホームページ「帳票データを作成するための日レセの設定について」を参照してください。

2. システムのインストール

- ① ORCA_Bridge.msiを実行してください。







システムのインストールは完了です。

デスクトップに [ORCAブリッジ] のアイコンが作成されます。同時にスタートアップメニューへ登録されます。

3. 初期設定

- ① デスクトップにある [ORCAブリッジ]アイコン をダブルクリック（実行）してください。
常駐プログラムで起動します。
- ② タスクバーから常駐プログラムを表示させて起動している[ORCAブリッジ]アイコンを右ボタンでクリックします。
- ③ 表示されたメニューから「開く」を選択します。

メインメニューが表示されます。



[設定]ボタン をクリックしてシステムの初期設定を行います。



[設定]ボタンをクリックして設定画面を開きます。

ORCAブリッジ (設定)

ORCA Bridge

DISCONNECTED

ORCAブリッジ (ユーザプログラム登録)

設定

クラウド オンプレ オンプレ (WebORCA)

① オンプレ TLS1.2 WebORCA

WebSocket サーバのURL ②

APIのユーザID ③

APIキー ④

SSLクライアント認証の利用 ⑤ ● する ○ しない

APIサーバ ⑥

APIポート ⑦

クライアント証明書 ⑧ 参照

秘密鍵パスフレーズ ⑨

帳票データファイル出力パス ⑩ 参照

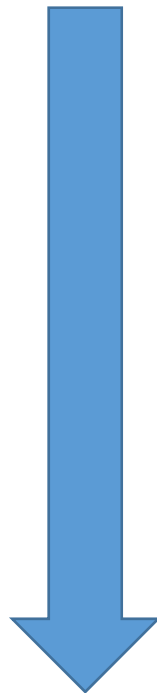
登録

閉じる

Version 1.0.18 Update 2023/06/20

クラウド、オンプレまたはオンプレ（WebORCA）を選択します。

※各設定内容に関しまして次頁以降の設定例を参照してください。



設定例1). クラウドの場合

ORCAブリッジ (設定)

ORCA Bridge

DISCONNECTED

ORCAブリッジ (ユーザプログラム登録)

設定

● クラウド ○ オンプレ ○ オンプレ(WebORCA)

① オンプレ TLS1.2 WebORCA

WebSocketサーバのURL ②

APIのユーザID ③

APIキー ④

SSLクライアント認証の利用 ⑤ ● する ○ しない

APIサーバ ⑥

APIポート ⑦

クライアント証明書 ⑧ 参照

秘密鍵パスフレーズ ⑨

帳票データファイル出力パス ⑩ 参照

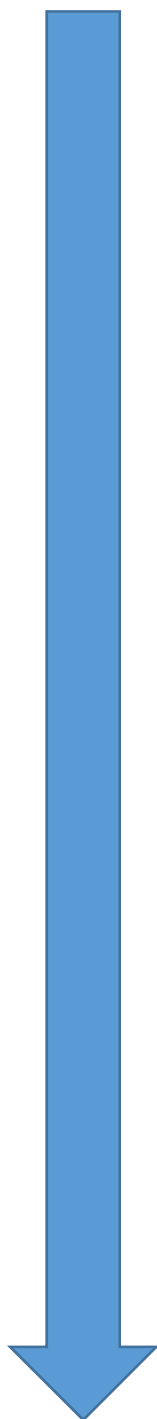
登録

閉じる

Version 1.0.18 Update 2023/06/20

- ① TLS1.2、またはWebORCAを選択します。
選択すると下記、サーバ情報、およびAPIポートは自動設定されます。
- ② 「WebSocketサーバのURL」
=wss://pusher-proxy.glorca.orcamo.jp/ws (TLS1.2の場合)
=wss://weborca.cloud.orcamo.jp/ws (WebORCAの場合)
- ③ 「APIのユーザID」 = ormaster
- ④ 「APIキー」 = (API認証用のキー)
- ⑤ 「SSLクライアント認証の利用」 = する
- ⑥ 「APIサーバ」
= https://ap-proxy.glorca.orcamo.jp (TLS1.2の場合)
= https://weborca.cloud.orcamo.jp (WebORCAの場合)
- ⑦ 「APIポート」
= 8080 (TLS1.2の場合)
= 443 (WebORCAの場合)

- ⑧ APIの「クライアント証明書」 = ～.p12
（[参照]ボタンを使用して登録された証明書を選択します）
【重要】 証明書のインストールが完了していることを確認してください。
- ⑨ APIの「秘密鍵パスフレーズ」 = （APIの秘密鍵パスフレーズ）
※上記、証明書に同梱されている.passファイル内の文字列（パスワード）。
- ⑩ 「帳票データファイル出力パス」 = （[参照]ボタンを使用して選択します）



設定例2). オンプレ、またはオンプレ (WebORCA) の場合

ORCAブリッジ (設定)

ORCAブリッジ (ユーザープログラム登録)

設定

閉じる

Version 1.0.18 Update 2023/06/20

ORCA Bridge

DISCONNECTED

○ クラウド オンプレ オンプレ(WebORCA)

① オンプレ TLS1.2 WebORCA

WebSocketサーバのURL ②

APIのユーザID ③

APIキー ④

SSLクライアント認証の利用 ⑤ する しない

APIサーバ ⑥

APIポート ⑦

クライアント証明書 ⑧ 参照

秘密鍵パスフレーズ ⑨

帳票データファイル出力パス ⑩ 参照

登録

① オンプレを選択します。

② 「WebSocketサーバのURL」

=ws:// (ORCA サーバー IP) :9400/ws (オンプレの場合)

=ws:// (ORCA サーバー IP) :8000/ws (オンプレ (WebORCA) の場合)

③ 「APIのユーザID」 = ormaster

④ 「APIキー」 = ormaster

⑤ 「SSLクライアント認証の利用」 = しない

⑥ 「APIサーバ」 = http:// (ORCA サーバー IP)

【重要】最後の「/」は削除してください。

⑦ 「APIポート」 = 8000

⑧ APIの「クライアント証明書」 = (設定なし)

⑨ APIの「秘密鍵パスフレーズ」 = (設定なし)

⑩ 「帳票データファイル出力パス」 = (参照して選択します)



【補足説明】

ローカル接続の場合、PUSH-API配信サーバ（pusher）のインストールが必要になります。下記、手順に従ってLinuxのTerminal画面からインストールを行ってください。

- (1). Terminal画面を開いてユーザーをrootに変更します。
- (2). PUSH-API配信サーバ（pusher）をインストールします。

- ① Ubuntu18.04 の場合

```
$ sudo apt-get install jma-receipt-pusher
```

- ② Ubuntu20.04 の場合

```
$ sudo apt install jma-receipt-pusher
```

- (3). pusherが起動されているか確認します。

- ① Ubuntu18.04 の場合

```
$ sudo supervisorctl status pusher
```

(RUNNINGと表示されていればOKです)

- ② Ubuntu20.04 の場合

```
$ sudo systemctl status jma-receipt-pusher.service
```

(active (running)と表示されていればOKです)

RUNNINGと表示されない場合、またはエラーとなっている場合、pusherを、再起動します。

- ① Ubuntu18.04 の場合

```
$ sudo /etc/init.d/supervisor restart
```

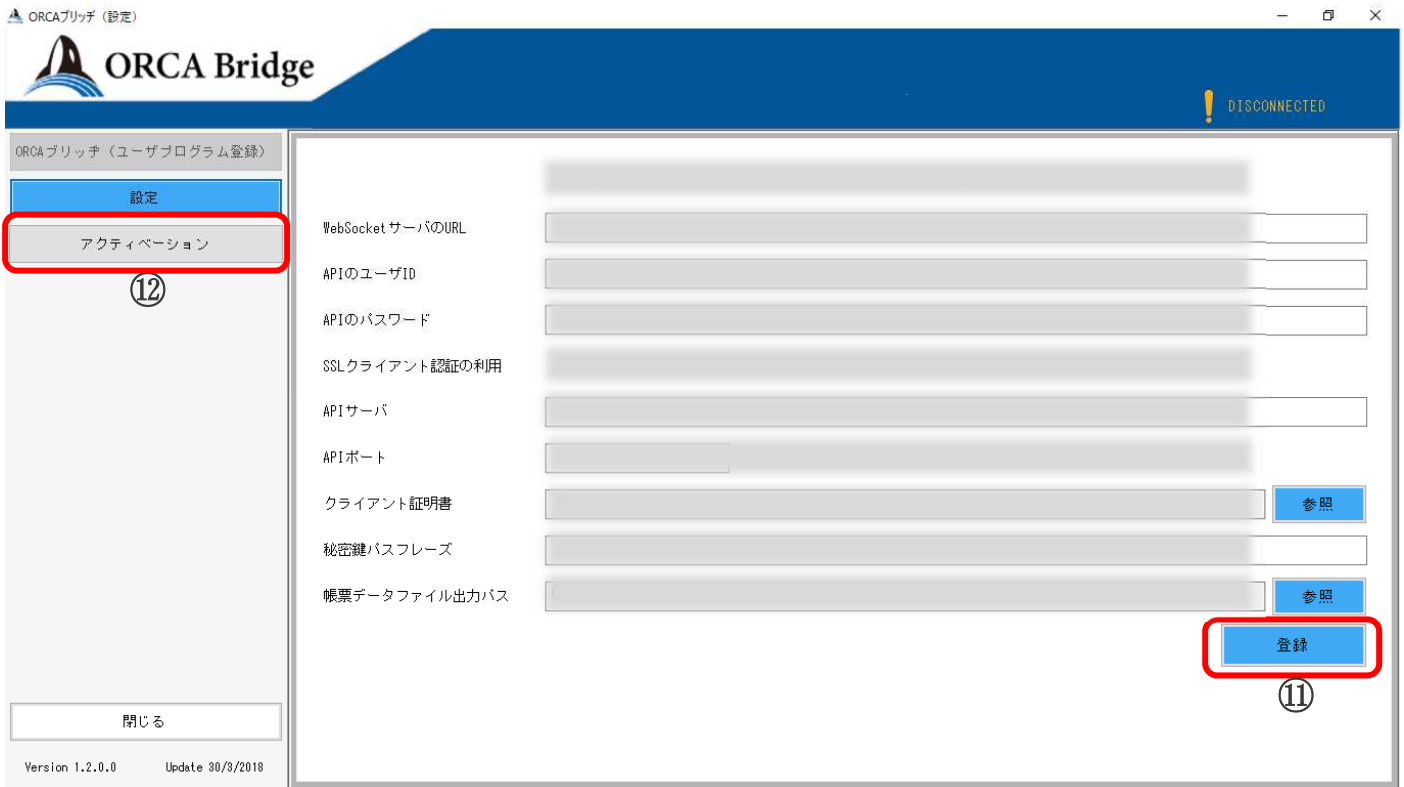
```
$ sudo supervisorctl start pusher
```

- ② Ubuntu20.04 の場合

```
$ sudo systemctl restart jma-receipt-pusher.service
```

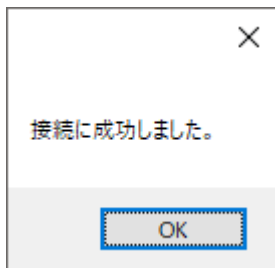
(補足) pusher用のログファイルが下記に出力されますので、必要に応じて内容の確認を行います。

```
/var/log/jma-receipt/pusher.std.log
```



- ① 入力が完了したら[登録]ボタンをクリックして登録します。

正常に登録された場合、メッセージが表示されます。



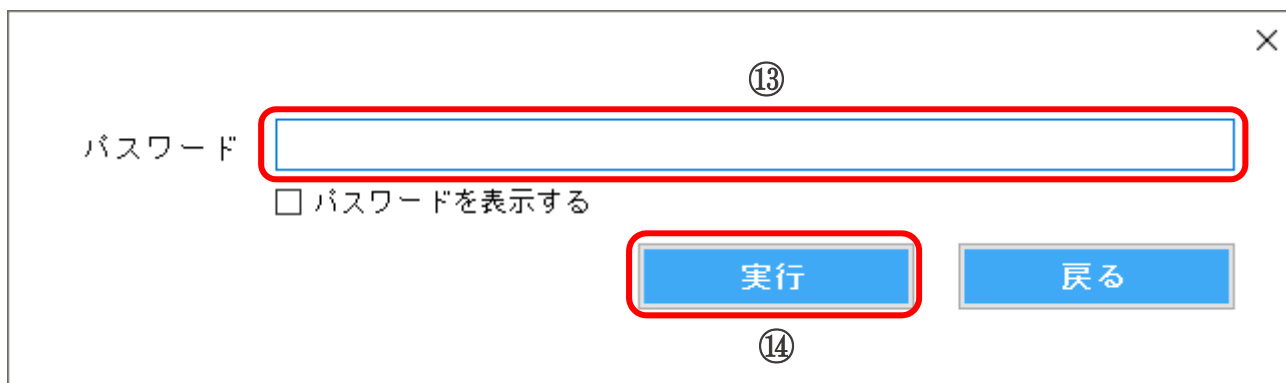
同時に右上の表示で DISCONNECTED が CONNECTED の表示に変わります。

正常に接続されない場合、入力されている設定内容、および使用期限、等を確認してください。

- ② 登録が完了したら画面の左上にある [アクティベーション]ボタン をクリックします。



アクティベーション画面が表示されます。



⑬ アクティベーションの「パスワード」を入力してください。

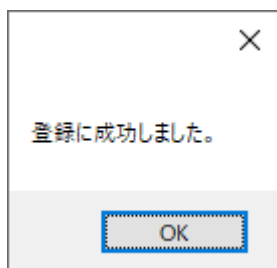
入力したパスワードは*で表示されます。

をチェックした場合、入力したコードを表示させることができます。

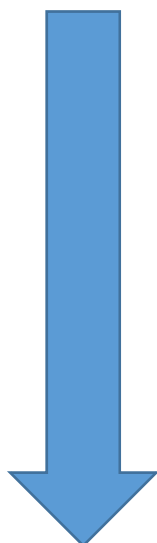
注). この操作は初回のみ行います。

⑭ [実行]ボタン をクリックしてアクティベーションを行います。

アクティベーションに成功するとメッセージが表示されます。



登録に失敗した場合、入力されているパスワード、および使用期限を確認してください。



VPN接続の場合の注意点について

VPN接続の場合、ORCAブリッジが起動する前にVPN接続が確立している必要があります。従って、プログラム起動順の間違いが発生しないように起動方法を検討する必要があります。以下の様なバッチコマンドを参考にして起動順の対策を行ってください。

【解説】

このバッチコマンドではまず、起動中のORCAブリッジを終了してクラウドサーバーの接続を完了した後、ORCAブリッジを起動しています。「クラウドサーバー接続」の部分は御社の作成した「VPN名」に合わせてください。

①任意のバッチファイル名で以下の内容のバッチファイルを作成してください。

```
@echo off
taskkill /im ORCA_Bridge.exe /f > null
rasphone -d "クラウドサーバー接続"
start " " "C:¥ORCA_Bridge¥ORCA_Bridge.exe"
```

②作成したバッチファイルのショートカットを作成しデスクトップなどに配置します。

③ユーザー様へは、

「VPNの接続は、このショートカットをダブルクリックして始めてください」

と説明してください。

以上で、初期設定は完了です。

続けてユーザ プログラム登録を行います。

4. ユーザプログラムの登録

「ユーザプログラム登録」画面を開きます。



- ① ユーザープログラムを実行する為の起動画面（[受付通知]、[患者登録通知]、または[診療行為登録]）を選択します。
- ② [新規]ボタン をクリックして「編集」画面 を開きます。

実行（出力）するタイプで作成方法を分岐してください。

- ・[EXE] パラメータを指定して実行形式のEXEコマンドを実行します。
- ・[CSV] 出力する項目を指定してカンマ区切りのCSVファイルを出力します。
- ・[TXT] 出力する項目を指定して固定長のTXTファイルを出力します。
- ・[XML] 出力する項目を指定してXMLファイルを出力します。



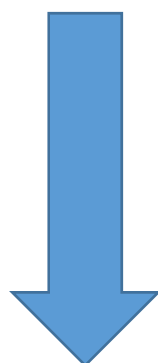
5. EXEコマンドを実行する場合

登録方法について以下の導入ケース例で説明します。

例1) 「受付表示システム」と連携させる

ORCAの受付登録時に待合室に設置された「受付表示システム」へ受付された患者さんの患者情報を表示。表示用のプログラム（UketsukeDisplay.exe）へパラメータ（患者番号、患者氏名、患者カナ氏名、性別、予約日、予約時間）を渡して実行することで表示が可能とします。

起動画面	受付通知
プログラム（パス）名	C:\¥ORCA¥EXE¥UketsukeDisplay.exe
パラメータ	\$1=患者番号 \$2=患者氏名 \$3=患者カナ氏名 \$4=性別 \$5=予約日 \$6=予約時間
実行時コマンドライン	C:\¥ORCA¥EXE¥UketsukeDisplay.exe \$1 \$2 \$3 \$4 \$5 \$6



「編集」画面を開きます。

① 処理・帳票名 受付表示システム連携

② 出力形式 EXE

③ APIタイプ 患者情報取得API

API項目リスト

1	患者番号
2	患者氏名
3	患者カナ氏名
4	生年月日
5	性別
6	郵便番号
7	住所1
8	住所2
9	自宅電話番号
10	連絡先番号
11	コメント1
12	コメント2
13	状態番号1
14	状態1
15	状態番号2
16	状態2
17	状態番号3
18	状態3
19	初回受診日
20	最終受診日

④

1	患者番号	頭ゼロあり
2	患者氏名	
3	患者カナ氏名	全角
4	性別	1,2

① [処理・帳票名] (= 受付表示システム連携) を入力します。

② [出力形式] (= [EXE]) を選択します。

③ [APIタイプ]を[患者情報取得API]で選択します。

④ [API項目リスト]から出力するデータ項目を選択します。

1) [患者番号]を選択して[追加]ボタンをクリックします。

2) [患者氏名]を選択して[追加]ボタンをクリックします。

3) [患者カナ氏名]を選択して[追加]ボタンをクリックします。

4) [性別]を選択して[追加]ボタンをクリックします。



ORCAアプリ (新規)

起動画面: 受付通知

処理・帳票名: 受付表示システム連携

APIタイプ: 患者予約情報API

API項目リスト

1	予約日
2	予約時間

追加 >>>

出力形式: EXE, CSV, TXT, XML

設定情報ファイル: インポート, エクスポート

EXE 実行スクリプト
exeコマンド (パラメータ) を入力してください
例). c:\orca\exe\UketsukeDisplay.exe \$1 \$2 \$3 \$4 (パラメータは\$+番号で表現します)

CSV
ファイルレイアウトのパターン、出力先パス、およびファイル名を入力してください
パターン: パターンの例
CSVパス: 参照
例). pt[患者番号]_[DATE]_[TIME].csv (項目を参照する場合、[] (カッコ) で囲みます)
ファイル名:

exeコマンドのパラメータ、またはテキストデータの並び

1	患者番号	頭ゼロあり
2	患者氏名	
3	患者カナ氏名	全角
4	性別	1,2
5	予約日	yyyy-MM-dd
6	予約時間	HH:mm

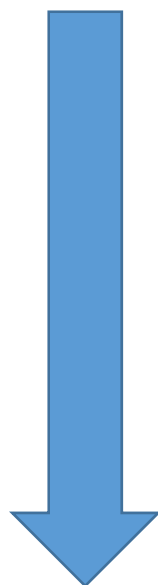
xml本文: 定型文の参照

文字コード: UTF-8 Shift-JIS

戻る 登録

- ⑤ [APIタイプ]を[患者予約情報API]で選択します。
- ⑥ [API項目リスト]から出力するデータ項目を選択します。
- 1) [予約日]を選択して[追加]ボタンをクリックします。
 - 2) [予約時間]を選択して[追加]ボタンをクリックします。

続けてEXEの情報を入力します。





⑦ EXE情報を設定します。

[参照]ボタンをクリックしてファイルを選択します。

例). C:\¥ORCA¥EXE¥UketsukeDisplay.exe

続けて、パラメータの設定を行います (手動)。パラメータは\$+番号で表現します。

番号はリストから選択された項目並び順の番号です。

例). C:\¥ORCA¥EXE¥UketsukeDisplay.exe \$1 \$2 \$3 \$4 \$5 \$6

⑧ 入力が完了したら[登録]ボタンをクリックして登録します。

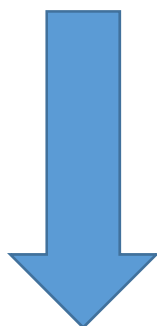
6. CSVファイルを出力する場合

登録方法について以下の導入ケース例で説明します。

例2) 「診察券発行システム」と連携させる

ORCAの患者登録時に窓口に設置された「診察券発行システム」へ登録された患者さんの診察券を発行。監視フォルダ（C:¥ORCA¥CSV）へ指定されたファイル名（pt[患者番号].csv）およびフォーマット（患者番号、患者氏名、患者カナ氏名、生年月日、性別）のCSVファイルを出力することで処理が可能とします。

起動画面	患者登録通知	
ファイルの出力先	C:¥ORCA¥CSV	
ファイル名	pt[患者番号].csv	
CSVレイアウト	\$1=患者番号 \$2=患者氏名 \$3=患者カナ氏名 \$4=生年月日 \$5=性別	
レイアウトのパターン	\$1, \$2, \$3, \$4, \$5	(カンマ区切り)



「編集」画面を開きます。

- ① [処理・帳票名] (= 診察券発行システム連携) を入力します。
- ② [出力形式] (= [CSV]) を選択します。
- ③ [APIタイプ]を[患者情報取得API]で選択します。
- ④ [API項目リスト]から出力するデータ項目を選択します。
 - 1) [患者番号]を選択して[追加]ボタンをクリックします。
 - 2) [患者氏名]を選択して[追加]ボタンをクリックします。
 - 3) [患者カナ氏名]を選択して[追加]ボタンをクリックします。
 - 4) [生年月日]を選択して[追加]ボタンをクリックします。
 - 5) [性別]を選択して[追加]ボタンをクリックします。

続けてCSVの情報を設定します。





CSV情報を設定します。

⑤ [パターン] (レイアウトパターン) を設定します (手動) 。

レイアウトパターンは\$+番号で表現します。番号はリストから選択された項目並び順の番号です。

例). \$1, \$2, \$3, \$4, \$5

⑥ [CSVパス] (CSVファイルの出力先) を設定します。

例). C:\ORCA\CSV

⑦ [ファイル名]を設定します。

1) 頭の文字列 (pt) を手入力します。

2) [APIタイプ]を[患者情報取得API]で選択します。

3) [患者番号]を選択してファイル名用の[追加]ボタンをクリックします。

手入力した“pt”の後ろへ “[患者番号].csv” が追記されます。

例). pt[患者番号].csv

⑧ 入力が完了したら[登録]ボタンをクリックして登録します。

7.TXTファイルを出力する場合

登録方法について以下の導入ケース例で説明します。

例3) 「ラベル発行システム」と連携させる

ORCAの患者登録時に窓口に設置された「ラベル発行システム」へ登録された患者さんのラベルを発行。監視フォルダ（C:¥ORCA¥TXT）へ指定されたファイル名（pt[患者番号].txt）およびフォーマット（患者番号、患者氏名、患者カナ氏名、生年月日、性別）のテキストファイルを出力することで処理が可能とします。

起動画面	患者登録通知
ファイルの出力先	C:¥ORCA¥TXT
ファイル名	pt[患者番号].txt

テキストレイアウト

カラム数	(バイト数)	項目名	例
01~05	(05)	患者番号	00001
06~45	(40)	患者氏名	名古屋 太郎
46~85	(40)	患者カナ氏名	ナゴヤ タロウ
86~95	(10)	生年月日	1960-03-01
96~96	(01)	性別	1

レイアウトのパターン \$1(5)\$2(40)\$3(40)\$4(10)\$5(1)



「編集」画面を開きます。

ORCAアプリ (編集)

起動画面 患者登録通知

① 処理・帳票名 ラベル発行システム連携

② 出力形式 EXE CSV **TXT** XML

③ APIタイプ 患者情報取得API

API項目リスト

1	患者番号
2	患者氏名
3	患者カナ氏名
4	生年月日
5	性別
6	郵便番号
7	住所1
8	住所2
9	自宅電話番号
10	連絡先番号
11	コメント1
12	コメント2
13	状態番号1
14	状態1
15	状態番号2
16	状態2
17	状態番号3
18	状態3
19	初回受診日
20	最終受診日

追加 >>>

④ exeコマンドのパラメータ、またはテキストデータの並び

1	患者番号	頭ゼロあり
2	患者氏名	
3	患者カナ氏名	全角
4	生年月日	yyyy-MM-dd
5	性別	1,2

追加 >>> 上 下

実行スクリプト

exeコマンド (パラメータ) を入力してください

例). c:\orca\exe\UkatsukeDisplay.exe \$1 \$2 \$3 \$4 (パラメータは\$+番号で表現します)

TXT

ファイルレイアウトのパターン、出力先パス、およびファイル名を入力してください

パターン

TXTパス

例). pt[患者番号]_[DATE]_[TIME].txt (項目を参照する場合、[] (カッコ) で囲みます)

ファイル名

xml本文

文字コード UTF-8 Shift-JIS

戻る 登録

① [処理・帳票名] (= 診察券発行システム連携) を入力します。

② [出力形式] (= [TXT]) を選択します。

③ [APIタイプ]を[患者情報取得API]で選択します。

④ [API項目リスト]から出力するデータ項目を選択します。

1) [患者番号]を選択して[追加]ボタンをクリックします。

2) [患者氏名]を選択して[追加]ボタンをクリックします。

3) [患者カナ氏名]を選択して[追加]ボタンをクリックします。

4) [生年月日]を選択して[追加]ボタンをクリックします。

5) [性別]を選択して[追加]ボタンをクリックします。

続けてTXTの情報を設定します。





TXT情報を設定します。

- ⑤ [パターン] (レイアウトパターン) を設定します (手動)。

レイアウトパターンは\$+番号で表現します。番号はリストから選択された項目並び順の番号です。

例). \$1(5)\$2(40)\$3(40)\$4(10)\$5(1)

- ⑥ [TXTパス] (TXTファイルの出力先) を設定します。

例). C:\ORCA\TXT

- ⑦ [ファイル名]を設定します。

4) 頭の文字列 (pt) を手入力します。

5) [APIタイプ]を[患者情報取得API]で選択します。

6) [患者番号]を選択してファイル名用の[追加]ボタンをクリックします。

手入力した“pt”の後ろへ “[患者番号].txt” が追記されます。

例). pt[患者番号].txt

- ⑧ 入力が完了したら[登録]ボタンをクリックして登録します。

8.XMLファイルを出力する場合

登録方法について以下の導入ケース例で説明します。

例4) 「画像診断システム」と連携させる

ORCAの患者登録時にレントゲン室に設置された「画像診断システム」へ登録された患者さんの患者属性をファイル出力。監視フォルダ（C:¥ORCA¥XML）へ指定されたファイル名（pt[患者番号].xml）およびフォーマット（患者番号、患者氏名、患者カナ氏名、生年月日、性別）のXMLファイルを出力することで連携が可能とします。

起動画面	患者登録通知
ファイルの出力先	C:¥ORCA¥XML
ファイル名	pt[患者番号].xml

XMLファイル（サンプル）

```
<Data>
<Handle>Regist</Handle>
<Patient>
<Patient.ID>00001</Patient.ID>
<Patient.NameKanji>名古屋 太郎</Patient.NameKanji>
<Patient.NameKana>ナゴヤ タロウ</Patient.NameKana>
<Patient.BirthDate>1960-03-01</Patient.BirthDate>
<Patient.Sex>1</Patient.Sex>
</Patient>
</Data>
```



「編集」画面を開きます。

ORCAアプリッチ (新規)

起動画面 患者登録通知

① 処理・帳票名 画像診断システム連携

② 出力形式 EXE CSV TXT XML

③ APIタイプ 患者情報取得API

API項目リスト

1	患者番号
2	患者氏名
3	患者カナ氏名
4	生年月日
5	性別
6	郵便番号
7	住所1
8	住所2
9	自宅電話番号
10	連絡先番号
11	コメント1
12	コメント2
13	状態番号1
14	状態1
15	状態番号2
16	状態2
17	状態番号3
18	状態3
19	初回受診日
20	最終受診日

追加 >>>

④

1	患者番号	頭ゼロあり
2	患者氏名	
3	患者カナ氏名	全角
4	生年月日	yyyy-MM-dd
5	性別	1,2

追加 >>> 上へ 下へ <<< 削除

exeコマンドのパラメータ、またはテキストデータの並び

xml本文 定型文の参照

文字コード UTF-8 Shift-JIS

戻る 登録

① [処理・帳票名] (= 画像診断システム連携) を入力します。

② [出力形式] (= [XML]) を選択します。

③ [APIタイプ]を[患者情報取得API]で選択します。

④ [API項目リスト]から出力するデータ項目を選択します。

1) [患者番号]を選択して[追加]ボタンをクリックします。

2) [患者氏名]を選択して[追加]ボタンをクリックします。

3) [患者カナ氏名]を選択して[追加]ボタンをクリックします。

4) [生年月日]を選択して[追加]ボタンをクリックします。

5) [性別]を選択して[追加]ボタンをクリックします。

続けてXMLの情報を設定します。





XML情報を設定します。

⑤ [XML本文]を設定します (手動)。

XML本文を作成します。参照項目を (\$+番号) で表現して記入します。番号はリストから選択された項目並び順の番号です。

例).

```
<Data>
<Handle>Regist</Handle>
<Patient>
<Patient.ID>$1</Patient.ID>
<Patient.NameKanji>$2</Patient.NameKanji>
<Patient.NameKana>$3</Patient.NameKana>
<Patient.BirthDate>$4</Patient.BirthDate>
<Patient.Sex>$5</Patient.Sex>
</Patient>
</Data>
```

選択された項目 (上から順に\$1~\$5)

\$1=患者番号、\$2=患者氏名、\$3=患者カナ氏名、\$4=生年月日、\$5=性別

⑥ [XMLパス] (XMLファイルの出力先) を設定します。

例). C:¥ORCA¥XML

⑦ [ファイル名]を設定します。

1) 頭の文字列 (pt) を手入力します。

2) [APIタイプ]を[患者情報取得API]で選択します。

3) [患者番号]を選択してファイル名用の[追加]ボタンをクリックします。

手入力した “pt” の後ろへ “[患者番号].xml” が追記されます。

例). pt[患者番号].xml

⑧ 入力が完了したら[登録]ボタンをクリックして登録します。

9. ユーザプログラム登録（実行の登録）

「ユーザプログラム登録」画面を開きます。

ORCAブリッジ (ユーザプログラム登録)

ORCA Bridge

CONNECTED

ORCAブリッジ (ユーザプログラム登録)

設定

起動画面 患者登録通知

新規 +

実行	処理・帳票名	出力形式	実行スクリプト、およびファイル名		
<input checked="" type="checkbox"/>	診察券発行システム連携	CSV	C:\WORCA\OUTPUT\pt [患者番号].csv	編集	削除
<input checked="" type="checkbox"/>	ラベル発行システム連携	TXT	C:\WORCA\OUTPUT\pt [患者番号].txt	編集	削除
<input checked="" type="checkbox"/>	画像診断システム連携	XML	C:\WORCA\OUTPUT\pt [患者番号].xml	編集	削除

①

② 登録

閉じる

Version 1.0.2 Update 2018/07/02

① プログラムを実行させる場合、[実行]にチェックを入れます。実行させない場合、チェックを外します。

② 最後に[登録]ボタンをクリックして登録します。

10. ユーザプログラム登録（編集・削除）

「ユーザプログラム登録」画面を開きます。

The screenshot shows the 'ORCA Bridge' application window. The title bar reads 'ORCAブリッジ (ユーザプログラム登録)'. The main content area is titled 'ORCAブリッジ (ユーザプログラム登録)'. On the left, there is a sidebar with '設定' (Settings) and '閉じる' (Close) buttons. The main area has a dropdown menu for '起動画面' (Startup Screen) set to '患者登録通知'. A table lists three programs:

実行	処理・帳票名	出力形式	実行スクリプト、およびファイル名	編集	削除
<input checked="" type="checkbox"/>	診察券発行システム連携	CSV	C:\WORCA\OUTPUT\pt [患者番号].csv	編集	削除
<input checked="" type="checkbox"/>	ラベル発行システム連携	TXT	C:\WORCA\OUTPUT\pt [患者番号].txt	編集	削除
<input checked="" type="checkbox"/>	画像診断システム連携	XML	C:\WORCA\OUTPUT\pt [患者番号].xml	編集	削除

Red boxes highlight the '編集' (Edit) and '削除' (Delete) buttons for each row. Circled numbers 1 and 2 are placed below the first and second columns of these buttons, respectively. A '新規 +' (New) button is in the top right, and a '登録' (Register) button is in the bottom right. The status bar at the bottom left shows 'Version 1.0.2' and 'Update 2018/07/02'. The top right corner shows 'CONNECTED' with a checkmark icon.

- ① 編集する場合、[編集]ボタン をクリックします。編集画面を開きます。
- ② 削除する場合、[削除]ボタン をクリックします。プログラムが削除されます。

11. その他の機能

「編集」画面

ORCAアプリッチ (新規)

起動画面: 患者登録通知
処理・帳票名: 診察券発行システム連携

APIタイプ: 予約語 (関数)

API項目リスト

1	DATE
2	TIME
3	保険種別

出力形式

EXE
実行スクリプト
exeコマンド (パラメータ) を入力してください
例). c:\orca\exe\UkatsukeDisplay.exe \$1 \$2 \$3 \$4 (パラメータは\$+番号で表現します)

CSV
ファイルレイアウトのパターン、出力先パス、およびファイル名を入力してください
パターン: \$1,\$2,\$3,\$4,\$5
CSVパス: C:\ORCA\OUTPUT
例). pt [患者番号]_[DATE]_[TIME].csv (項目を参照する場合、[] (カッコ) で囲みます)
ファイル名: pt [患者番号]_[DATE][TIME].csv

exeコマンドのパラメータ、またはテキストデータの並び

1	患者番号	頭ゼロあり
2	患者氏名 <td>全角カナ</td>	全角カナ
3	患者カナ氏名 <td>yyyy-MM-dd</td>	yyyy-MM-dd
4	生年月日 <td>1,2</td>	1,2
5	性別 <td></td>	

xml本文

文字コード: UTF-8 Shift-JIS EUC

ファイル: 上書き 追記

① [APIタイプ]の予約語 (関数)

[DATE]、[TIME]、および[保険種別]を選択することが出来ます。

[保険種別]は変換テーブルに登録されている内容で[保険の種類] (APIタイプ = [患者情報取得API]) を[保険種別]へ変換して出力します。

※登録方法は⑨[保険種別]ボタンを参照してください。

② [出力するデータ項目]のフォーマット (コンボボックス)

出力フォーマットをコンボボックスから選択することが出来ます。 (資料1) 参照

③ [出力するデータ項目]の[上下移動]ボタン

項目を選択してボタンをクリックすると上下に移動することが出来ます。

④ [パターン例]ボタン

ボタンをクリックするとcsv、およびtxtファイルのレイアウトパターンの例を参照することが出来ます。

⑤ [インポート]、および[エクスポート]ボタン

作成されたユーザプログラム情報を[エクスポート]することができます。またそのファイルを[インポート]することができます。

⑥ [パターン]の複数行入力

複数行の入力が可能です。

例). 1行目に項目名称（ヘッダー部）、2行目位のデータ内容を配置する。

（設定情報）

（1行目）患者番号,患者氏名,患者カナ氏名,性別,生年月日

（2行目）\$1,\$2,\$3,\$4,\$5



（出力ファイル）

患者番号,患者氏名,患者カナ氏名,性別,生年月日

00001,名古屋 太郎,ナゴヤ タロウ,男,昭和35年10月15日

⑦ [定型文の参照]ボタン

ボタンをクリックするとxml本文の定型文を参照することができます。

⑧ [文字コード]のタイプ

UTF-8、Shift-JIS、またはEUCを選択します。

⑨ [ファイル]の書込モードの登録

上書き、または追記を選択します。

⑩ [保険種別]の変換テーブルの登録

[保険の種類]（APIタイプ=[患者情報取得API]）を[保険種別]へ変換する為の変換テーブルを登録します。



[保険種別] 登録画面

ORCAブリッジ (保険種別)

「保険の種類」を「保険種別」に変換します。
例).
(060 国保)を「国保」で変換する場合、060 = 国保
(039 後期高齢者)を「3」で変換する場合、039 = 3
設定なし)を「公費単独」で変換する場合、なし = 公費単独
(上記以外)を「社保」で変換する場合、 以外 = 社保

①	保険の種類	保険種別名	②
	060	国保	削除
	067	国保	削除
	068	国保	削除
	069	国保	削除
	039	後期高齢者	削除
	040	後期高齢者	削除
	971	労災	削除
	973	自賠責	削除

戻る 登録 ③

① [保険の種類]を変換する[保険種別名]を登録します。サンプルとして変換テーブルが登録されています。**(資料2) 参照**

保険の種類 = [なし] (= 空欄) を変換する[保険種別名]を登録します。

保険の種類 = [以外] (= 上記以外) を変換する[保険種別名]を登録します。

[*]行は新規登録する場合のデータ行です。

エクセルのシートイメージで内容を変更することが出来ます。

② 削除する場合、対象の行の[削除]ボタンをクリックします。

③ 最後に [登録]ボタン をクリックして登録します。

12. 新機能

「編集」画面

ORCAアプリ (新規)

起動画面: 患者登録通知

処理・帳票名: 診察券発行システム連携

APIタイプ: 患者情報取得API

API項目リスト

1	患者番号
2	患者氏名
3	患者カナ氏名
4	生年月日
5	性別
6	郵便番号
7	住所 1
8	住所 2
9	自宅電話番号
10	連絡先番号
11	コメント 1
12	コメント 2
13	状態番号 1
14	状態 1
15	状態番号 2
16	状態 2
17	状態番号 3
18	状態 3
19	初回受診日
20	最終受診日
21	保険組合番号

出力形式: EXE, CSV, TXT, XML

設定情報ファイル: インポート, エクスポート

EXE
実行スクリプト
exeコマンド (パラメータ) を入力してください
例). c:\orca\exe\UketsukeDisplay.exe \$1 \$2 \$3 \$4 (パラメータは\$+番号で表現します)

CSV
ファイルレイアウトのパターン、出力先パス、およびファイル名を入力してください
パターン: \$1,\$2,\$3,\$4,\$5
CSVパス: C:\ORCA\CSV
ファイル名: pt[患者番号].csv

出力するデータ項目

1	患者番号	頭ゼロあり
2	患者氏名	
3	患者カナ氏名	全角
4	生年月日	yyyy-MM-dd
5	性別	1,2

文字コード: UTF-8 Shift-JIS

戻る 登録

① [API項目リスト]の選択

項目をダブルクリックすると出力項目へ追加されます。

② [出力するデータ項目]の選択

項目をダブルクリックすると (\$+番号で) パターンへ追加されます。

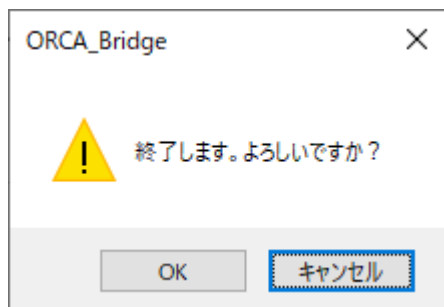
13. 閉じる



システムを閉じる場合、[閉じる]ボタンをクリックして閉じます（終了するまでプログラムは常駐しています）。

14. 終了

- ① タスクバーから常駐プログラムを表示させて起動している[ORCAブリッジ]アイコンを右ボタンでクリックします。
- ② 表示されたメニューから「終了」を選択します。
- ③ 下記メッセージが表示されますので[OK]ボタンをクリックします。



15. システムの更新

(Version 1.0.18以降の場合)

- ① タスクバーから常駐プログラムを表示させて起動している[ORCAブリッチ]アイコンを右ボタンでクリックします。
- ② 表示されたメニューから「最新バージョンに更新」を選択します。

(以前のバージョンの場合)

- ① 本マニュアル (P38) 「1 3. 終了」を参照してシステムを終了してください。
- ② 本マニュアル (P4) 「2. システムのインストール」を参照してシステムをインストールしてください。

16. システムのアンインストール

Windowsの設定メニューの「アプリと機能」から「ORCAブリッチ」をクリックして表示されたメニューからアンインストールを選択します。

17. よくある質問

① 設定画面の登録で接続エラーとなって接続できない。

以下の内容を確認してください。

【証明書インストール】

日レセクラウドの場合、各証明書が正しくインストールされている必要があります。本マニュアル（P1）「『日医標準レセプトソフト クラウド版』の証明書について」を参照して各証明書が正しくインストールされているか確認を行ってください。

【pusherの起動】

オンプレ環境の場合、pusherが起動している必要があります。本マニュアル（P13）「(3). pusherが起動されているか確認します。」を参照してpusherが起動しているか確認を行ってください。

【Portが閉じている】

オンプレ環境の場合、Windows PowerShellを開いて以下のコマンドを実行してPortが開いているか確認してください。

（コマンド）

Test-NetConnection [ターゲット] -Port [ポート番号]

（ポート番号）

APIポート … 8000

WebSocket用ポート … 9400

例).

Test-NetConnection 192.168.1.1 -Port 8000

② ORCAブリッジが動作しない時がある。

以下の内容を確認してください。

【インターネット接続環境】

インターネット接続環境によって日レセクラウドとORCAブリッジのVPN接続が切断されることがあります。切断された場合、ORCAブリッジは再接続を行いますが、接続が復旧するまでにORCAの登録処理が行われた場合、そのデータは処理されません。

修正履歴

2018/04/01	初版	
2018/06/15	2版	調整
2018/07/20	3版	ユーザープログラム登録でTXT、およびXMLファイルの出力を追加しました。 その他の機能で[パターン]の複数行入力の機能説明の追加しました。 xml本文の[定型文の参照]、および[文字コード]の選択機能の追加しました。 [保険種別]の変換テーブルの登録機能の追加しました。
2020/01/31	4版	設定例1). クラウドの場合 をTLS1.2用に更新しました。
2020/06/03	5版	「作業に入る前に」の説明を追加しました。 「VPN接続の注意点について」の説明を追加しました。 「ファイル」書込モードを追加しました。 一部の表現・文言の修正をしました。
2021/05/10	6版	「よくある質問」を追加しました。
2021/06/03	7版	クライアント証明書ファイル名にdbXXXX.p12を追加。
2021/10/21	8版	帳票データ（JSON形式のファイル）に関する説明を追加しました。 クライアント証明書ファイル名の変更に関する説明を削除しました。 「システムの更新」を追加しました。 （資料1）の日付関連の書式に関する選択項目を追加しました。
2021/12/01	9版	クラウド接続でWebORCAに対応しました。 新機能ページを追加しました。
2022/01/24	10版	log4netのバージョンアップを行いました（脆弱性対応）。 WebORCAのサーバ証明書入れ替え対応を行いました。
2022/08/03	11版	【補足説明】のpusherのインストール、他へUbuntu20.04を追記しました。
2023/07/06	12版	WebORCAオンプレに対応しました。 設定へ「オンプレ（WebORCA）」を追加しました。 常駐メニューへ「最新バージョンに更新」を追加しました。 （資料1）項目へ「メールアドレス～資格取得日」を追加しました。

ORCAブリッチで出力可能なAPI項目と設定可能な書式について

No.	API名	項目	書式（下線=初期表示）	出力サンプル
1	患者基本情報取得API	患者番号	<u>頭ゼロあり</u> 頭ゼロなし	00001234 1234
2	〃	患者氏名		
3	〃	患者カナ氏名	<u>全角</u> 半角	テスト タロウ テスト タウ
4	〃	生年月日	<u>yyyy-MM-dd</u> yyyy/MM/dd yyyyMMdd yyyy.MM.dd gee/MM/dd gee.MM.dd gee年MM月dd日 gggee/MM/dd gggee.MM.dd gggee年MM月dd日	1970-01-17 1970/01/17 19700117 1970.01.17 S45/01/17 S45.01.17 S45年01月17日 昭和45/01/17 昭和45.01.17 昭和45年01月17日
5	〃	性別	<u>1、2</u> 0、1 M、F male、female 男、女 男性、女性	
6	〃	郵便番号	<u>指定なし</u> 000-0000	4460850 446-0850
7	〃	住所1		
8	〃	住所2		
9	〃	自宅電話番号		
10	〃	連絡先番号		
11	〃	コメント1		
12	〃	コメント2		
13	〃	状態番号1		
14	〃	状態1		
15	〃	状態番号2		
16	〃	状態2		
17	〃	状態番号3		
18	〃	状態3		
19	〃	初回受診日	(生年月日と同様)	
20	〃	最終受診日	(生年月日と同様)	
21	〃	保険組合せ番号		
22	〃	入院負担割合		
23	〃	外来負担割合		
24	〃	保険の種類(※1)		
25	〃	保険者番号		

ORCAブリッジで出力可能なAPI項目と設定可能な書式について

No.	API名	項目	書式（下線=初期表示）	出力サンプル
26	〃	保険の制度名称		
27	〃	記号		
28	〃	番号		
29	〃	本人家族区分		
30	〃	適用開始日（保険）	（生年月日と同様）	
31	〃	適用終了日（保険）	（生年月日と同様）	
32	〃	公費の種類(※2)		
33	〃	公費の種類名称		
34	〃	負担者番号		
35	〃	受給者番号		
36	〃	適用開始日（公費）	（生年月日と同様）	
37	〃	適用終了日（公費）	（生年月日と同様）	
38	〃	電子メールアドレス		
39	〃	枝番		
40	〃	被保険者名		
41	〃	資格確認日	（生年月日と同様）	
42	〃	保険確認日	（生年月日と同様）	
43	患者予約情報API	予約日(※3)	（生年月日と同様）	
44	〃	予約時間(※3)	<u>hh:mm</u> hhmm	09:30 0930
45	予約語（関数）	DATE(※4)	<u>yyyy-MM-dd</u> yyyy/MM/dd yyyyMMdd yyyy.MM.dd	2018-01-21 2018/01/21 20180121 2018.01.21
46	〃	TIME(※4)	hhmmdd <u>hh:mm:dd</u>	093046 09:30:46
47	〃	保険種別(※5)		

(※1) [保険の種類]等、保険情報はPushAPIで通知された[保険組合せ番号]と一致した情報を出力します。

PushAPIの[保険組合せ番号]が空の場合は、レスポンスで返却された一番最初の保険情報を出力します。

(※2) [公費の種類]等、公費情報は一番最初の公費情報を出力します。

(※3) 予約日、予約時間は当日を含まない最新の日時（1件）を出力します。

(※4) 実行日時を出力します。

(※5) (資料2) を参照。

保険種別の初期設定について

No.	保険の種類	保険種別名
1	060	国保
2	067	国保
3	068	国保
4	069	国保
5	039	後期高齢者
6	040	後期高齢者
7	971	労災
8	973	自賠責
9	975	公害
10	980	自費
11	981	自費
12	982	自費
13	983	自費
14	984	自費
15	985	自費
16	986	自費
17	なし	公費単独
18	以外	社保

予約語（関数）の[保険種別]を「データの並び」の項目へ選択した場合、

患者情報取得APIの[保険の種類]を上記、[保険種別名]へ変換して出力します。

[保険の種類] = (設定なし) の場合、「なし」で設定されている[保険種別名]を出力します。

[保険の種類] = (上記以外) の場合、「以外」で設定されている[保険種別名]を出力します。